

道徳科学習指導案

単元名：

「あさがおのはち」

(全1時間扱い中 第1時)

授業日時 2019年9月2日(月)第2校時

授業学級 2年東組

授業会場 2年東組教室

授業者

指導者

(1)ねらい

児童は、「あさがおのはち」を読み、出来事を自分のことに置き換えて考えることを通して、身近にいる人に対して温かい心で接することができる。

(2)授業のポイント

・身近にある自分のクラスの鉢の写真を通して、自分の生活の中で他人に対しての親切心を考えられるようにする。【授業者の手立て】

(3)展開

過程	学習活動	○授業者の主発問・◇留意点・★教材・◎児童の反応	時間
導入	1. トマトの鉢の写真 を提示する 2. 「あさがおのはち」 を読む 学習問題:ぼくはどう してすぐにサッカー をしに行かなかった のだろう。	○「これは何でしょう。」 (意図) 身近にあるものを提示し、実生活での出来事 として考えられるようにする。 ★実際にある自分のクラスのトマトの鉢の写真 ◎「トマト!うちのクラスの!」 ★風で倒れてしまった朝顔の写真 ◎「ふつう倒れてないよ～」 ◎「先生倒したでしょ～～」 ○「あさがおのはちを静かに自分で読んでみましょ う。」 ◇プリントを配布する。 ★プリント ◇登場人物、出来事などの物語の基本情報を押さえ る。	5 13
【学習課題】ぼくがすぐにサッカーをしに行かなかったりゆうを考えよう!			
展開	3. ぼくがあそびにい かなかった理由を探 る	○「ぼくがすぐにサッカーにいなかったのはどうし てだろう。」 (意図) 休みの時間の遊びよりも助けることを優先した 理由に触れる。 ◎「1年生の女の子がこまっていたから」 ◎「はちがたおれていたから。」 ○「ぼくはどうして鉢を直す行動をしたのだろう。」 (意図) 僕がした行動の真意を読み取ることによっ	10

	4. 実際に朝顔が倒れていた場合を考える	て、他人に対する親切心や思いやりの気持ちに気づく。 ◎「女の子がかわいそうだったから。」 ◎「なつみさんが手伝っていたから。」 ◎「年下の子がこまっていたから。」 ○「もし、休み時間に自分がこの写真のトマトの鉢と出会ったとき、どうしますか。」 (意図) 物語で考えた内容を自分の実生活に置き換えながら考えてもらう。 ★風で倒れてしまったトマトの写真 ◎「元に戻す」 ◎「きれいにそろえる」 ○「元に戻すと、鉢を直した自分はどんな気持ちになりますか。」 ◎「いい気持ち」 ◎「困っている人を助けられてうれしい」 ◎「あったかいきもち」 【評価(対象)】自分に置き換えた時の行動と気持ちがしっかりと書かれている。(ワークシート)	10
終末	5. 本時の振り返りをする	○「どんな気持ちになるのか発表してくれる人はいますか」 (意図) 自分の考えをみんなに知ってもらい、考えを広める。	3